広報
さめがわ

1970
9月号
No. 202
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所



―ハトポッポのリズムに合せ元気なよい子たち―

保育所も、開設以来3年目を迎えました。現在85名の子供たちは、暑さにもめげず、毎日元気に通つています。

先ず朝の体操から園児たちの生活が始まり、両手をあげ、青空いつぱいに希望の胸をふくらませています。

☆ 9月のこよみ ☆

1日　・旧八朔、防災の日、農休日
　　・関東大震災記念日、交通事故ゼロの日
12日　・鮫川村敬老会
15日　・農休日、十五夜
20日　・鮫川村道路愛護、秋季清掃、火防診断、彼岸入り、家庭の日
　　・動物愛護週間
24日　・結核予防週間
25日　・鮫川村戦没者慰霊祭
（第3日曜は家庭の日、家族揃つて話し合いましよう）

今月の人口

人口	6,699	(−11)
男	3,389	(− 9)
女	3,310	(+ 9)
世帯	1,213	(0)

十月三日は消防の日

秋季検閲で意気昂揚を図る

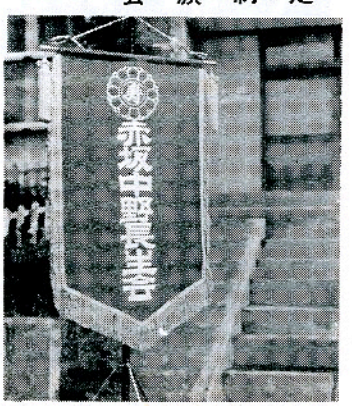
鮫川村消防団では、昨年から十月三日を「消防の日」と定め、消防精神の練成と防火思想の徹底を図ることにしました。

十月三日は二年前の、あのいまわしい学校火災の日を特に選んだもので、二度と災害は起すまじと今年は消防検閲をこの日に実施することにしました。併せてポンプ操法の模範演技や水勢競技が行われます。

●会場＝鮫小校庭
（午前七時三十分広畑より市内行進）

災害は忘れた頃にやつてくる。

中野老人クラブ会旗制定



中野老人クラブ（長生会々長水野芳光）は春の総集会で会員多数から要望があり会旗制定を決定し、調製を棚倉町藁谷染物店に依頼していましたが、六月二十一日出来上り事務所で西野熊野神社宮司により入魂式を挙行しました

会旗は春の研修旅行では常磐ハワイアンセンターに、七月十二日みんな楽しく歩こう大会には先頭に参加し、八月八日には会員鈴木末吉さんの葬儀に会葬し会員に親しまれながら、その任務を果しています。

＝10月1日から＝
印鑑条例が改正されます
詳わしくはチラシを御覧下さい

おめでた

七月　世帯主
芦ノ草　矢吹　浩善　父　善信
福原　芳賀　薫　〃　道夫
新宿　前田　功　〃　吉之助
吉合　斉藤由美子　〃　一郎
官代　前田　真澄　〃　武久

八月
水口　阿久津久美子　父　貢
越虫　芳賀　万里子　〃　五郎
落合　我妻　久美子　〃　福雄

おくやみ

八月
道少田　鈴木　末吉　69才　市治
二反田　松本　フジ　83才　栄一

村長の歩み（41）

米減反その後

村長　石田卯子八

秋来ぬと目にはさやかに見えねども……風のそよぎにしのびよる秋の気配を感ずるこの頃です。

今年は始めは記録的な酷寒に驚かされ、春先きの気象も不順で、冷害の心配さえ濃厚だつたのですが、土用の照り込みから持続する八月の高温で稲作は史上第三位の豊作と報道されています。

これまでは、豊作という言葉ほど農村の人々の心を豊かにしたものはなかつたが、現在は米の余剰時代になり、穫れすぎる心配が心を暗くする一面を伴うことは、困つたことでありますたわわにみのる穂波に、卒直によろこべるような農政を期待したいものであります。

わが村の農家の方々が、国の施策に協力して実施された米の生産調整実績は、それぞれ確認の作業を終えて数字がまとまりましたそれによると、

面積では目標五六*ha*に対して、六六・八四一*ha*となり、達成率一一九・三％であります。

収穫量では目標二二五tに対し二六四・〇五一tで、達成率は一一七・三％となります。

当初の申込面積より三・一五％を減じ、青刈実施面積も二・二九*ha*を算えました。

生産調整は、突然うち出された国の施策で、もとより農家の希望とは相反するものであるが「食管法の維持」に期待をかけながら、忠実にも国の意志に従つた農家の方々の協力には心から感謝の意を表したいと思います。

休耕面積は予定よりも多くなり四二・〇五*ha*で六三％近くになりました。とつさのことで作付転換が間に合わなかつた事情もあります。渡瀬地区の通年施行九・八*ha*は目標消化に大変役立つてくれました。

転換作物別にみると、飼料作物こんにやく、そさいなどの順になるようですが、大小豆が案外小面積に終つたのは、わが村の土壌条件によるものといえましよう。

生産調整施策は、今後も継続されるものと予想されますが、休耕面積を如何に活用するかに課題がかかつております。わが村の六三％は県下の平均数値より少いにしても、まことに惜しい面積であることにはかわりがありません。

地域分担との関連を強めての主産地形成に進むべきであり、農協を中核とする農業団体の統一ある指導と推進が望まれます

世上一割減反、二割増収という言葉も聞かれ、食管制の前途必ずしも楽観を許しません。今秋頃出されるかといわれている政府の地域分担制への期待とともに、今後の対策を慎重に進めて行きたいと思います。



議会だより

伊柳沢地区に ＝農道開設＝

八月十三日に十七名（欠員一名）の議員が出席して開かれ、会期を一日間とし次の三議案が原案どおり可決、認定されました。

◉議案第三十六号　昭和四十五年度鮫川村一般会計補正予算（第五号）

村税三十二万九千円、地方交付税二百二十六万七千円、県支出金二百十一万九千円、繰越金百四十万六千円、計六百十二万一千円の財源で、農業委員会、米生産調整関係費三十三万七千円、伊柳沢地区農道開設工事費三百五十八万九千円、鮫中生徒通学費補助金四十六万九千円、統合中道路用地購入費百二十万円、同水道工事テストボーリング費五十万円等が補正されました。

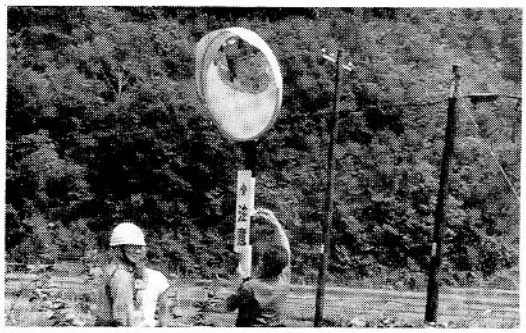
◉議案第三十七号　昭和四十四年度鮫川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

国保会計決算和歳入四千七百九十一万四千五百四十七円、歳出四千百六十一万二千九十五円、残額六百三十万二千四百五十二円、直営診療所会計歳入一千八十九万四千円、歳出一千八十一万三千八百六十六円、残額八万百三十四円の決算書が村監査委員の正当と認めるとの審査意見書が付されて提出され、審議のうえ認定されました

◉議案第三十八号　昭和四十五年度鮫川村国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

国保会計では繰越金二百七十二万二千円、国庫支出金五十万円減計二百二十二万二千円の財源で直営診療所運営費繰出金五十一万三千円、予備費百七十万九千円が補正されました。

直営診療所会計では繰入金五十一万三千円、繰越金七万九千円の財源で、医師の給料手当等六十五万七千円が補正され不足額は予備費より充当されました。



◉カーブミラー設置◉ お互に無事故を 誓いましょう!!

村交通対策協議会と交通安全協会鮫川分会で、青生野等村内五ヶ所にカーブミラーと徐行標識を一〇ヶ所設置しました。

運転される方は、カーブ等は必ず徐行し安全を確め交通事故を起さないよう、常に安全運転を心がけて下さい。

尚最近投石などでカーブミラーの破損が見られます。道路標識は社会の多くの皆様のものです。子供さんもイタヅラは絶対しないようお願いします。

十月一日＝国勢調査

十月一日午前零時を期して国勢調査が行われます。

この調査は、国や県はもちろん村政にも影響する大事な統計調査です。

一人も洩れなく、正しい申告をお願い致します。

◉**国勢調査は人口調査です**

村内に三ヶ月以上住んでいるか又は今後三ヶ月以上住む見込み（下宿、寄宿等を含む）の方は鮫川村で申告して下さい。

＝婦人会で花嫁衣裳新調＝ 評判よく申込殺到!!



2組揃った花嫁衣裳

新生活運動の一環として冠婚葬祭の簡素化を提唱している鮫川村婦人会は、一昨年につづいて、今年も花嫁衣裳一揃えを新調し、安い料金で貸し出しております。

美わしき花嫁姿は一生の想い出となるものです。希望者は次により早目に申込み下さい。

記

一、申込先　赤坂中野字新宿　鈴木アサ宅（電七〇番）

一、貸出料金

(一)花嫁衣裳一組　一〇、〇〇〇円から一三、〇〇〇円

(二)その他

モーニング一組一、五〇〇円

訪問着　一組　一、五〇〇円

喪服　一組　五〇〇円

＝国民年金所得比例保険料＝ 希望者は申出を!

年金法の改正により、所得比例制度がとり入れられ、十月から保険料の納付が始まります。

この制度は、今までより余分に保険料を納めて、その分だけ多く年金をうけとる仕組です。

いまの保険料は定額四五〇円ですが、このほかに月額三五〇円の所得比例保険料を納めると、二五年納めた場合の年金額は五万四千円となり、これに定額分九万六千円を加えて合計一五万円の年金額になります。

たとえば、夫が所得比例制度に加入した場合、夫婦でうける老令年金額は、二五年納付の場合には前述のように夫の分一五万円、妻の分九万六千円を合せて二四万六千円になり、月額二万五百円の年金がうけられます。

この所得比例制度に加入しますと月額保険料は八百円となりますまた所得比例保険料は、これを滞納しますと、所得比例制度を脱退したものとみなされますから滞納をしないことが条件です。

希望者は申し出て下さい。なおくわしくは年金係にお尋ね下さい。

酪農で集団営農県下一

福原乳牛クラブが知事表彰

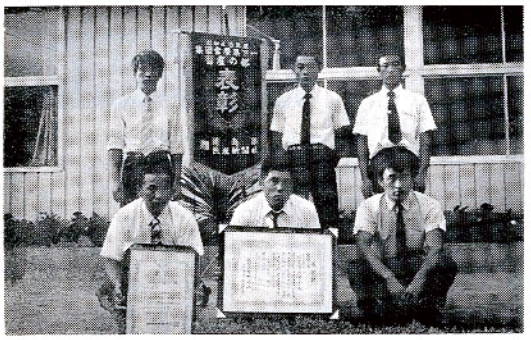
今年度の民友集団営農県下一の選奨に福原乳牛改良クラブ（代表者蛭田晃）が選ばれ、九月三日農試まつりでにぎわう郡山市農業試験場の表彰式で名誉の賞状、表彰旗が木村知事から授与されました。

この選奨は県と民友新聞社が主催し、農業七部門の中の畜産の部の県下一に選ばれたものです。

表彰されたこのクラブは六戸、一二名で構成され、平均年令が三〇歳そこそこの若さですが、現在飼育している乳牛は三九頭平均六、五頭。改良草地一三haの内六haが共同採草地で、クラブ員はそれぞれ裏山を開発した草地をもっています。

一万ドル酪農を当面の目標として若い力を寄せ合いながら精進している姿は頼もしい限りです。

クラブ員　蛭田晃　芳賀道夫
蛭田守　芳賀登　蛭田啓喜　芳賀利弘　外婦人部員



畜産県下一に選ばれた福原乳牛改良クラブ員

広報さめがわ二百号を祝して
—創刊を顧みる—

広報さめがわは、昭和四十五年七月号をもって紙令二〇〇号を記録しました、正に堂々たるもので心からお祝い申上げます。

一口に二〇〇号とはいえ、この努力は広報づくりに参画した者でなければ知るよしもなく、又数ある広報紙の中でも珍らしい紙令であろうと思います。

広報さめがわは、昭和二十七年九月に鮫川公民館報として創刊されたものであります。

このときの責任者は現収入役の前田季男さんで、私も共に編集にあたりましたので、広報紙はなつかしく毎月の発行を楽しみにしております。

風雨に負けず創刊より現在まで十七年十一月、実に六、五三五日の長い間続けて発行されておりますことは偉大な躍進であると信じます。広報紙の今日あるのは編集者各位の努力は勿論であるが、現石田村長の広報に対する大関心にあると思います。石田村長は創刊当時は鮫川高校の校長であり又編集同人でありましたが、昭和三十年に鮫川村の首長に就任されて尚かつ広報紙に盤石の重みを加えたことと私は信じております。

広報紙は、村政の内容を的確に村民に知らせ、広く世論の喚起を図ることが最大の使命だと思います。こうした意味から毎号欠かさず「村政の歩み」を発表されておりますことはまさに石田村長ならではと感じつゝ愛読しております

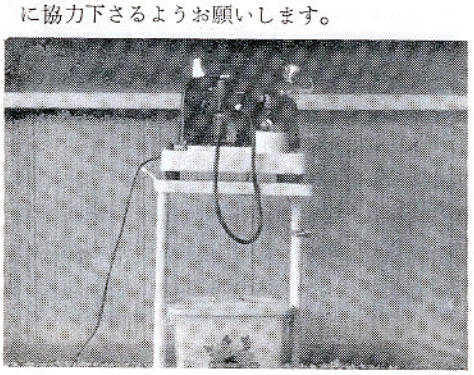
今年の七月号から題字を変え、内容も一新して編集されましたことは当を得たもので、今後の広報さめがわに期待しております。

小松幸一

◉狭い道路を広く使いましょう!!

最近道路上に終日野外駐車の自動車が増え、特に新宿地内の繁華街や保育園児の通園する道路上の駐車が多く、たいへん危険なのでなんとかならないかと一村民から苦情がありました。

法的には駐車禁止区域に指定されていませんが、道路は公道であり特定者に占有権はありませんので安全な場所に駐車して、交通事故撲滅に協力下さるようお願いします。



母子センターの電動母乳搾乳器

産婦の乳腺炎を予防するため、「電動式母乳搾乳器」を8万3千円（村負担3分の1）で購入し、入所中の産婦で母乳の出が悪い方や、乳の多く出すぎる方に使用され、たいへんよろこばれています。

この器械の購入で、未熟児で母親から直接授乳できない場合も、衛生的に搾乳して哺乳することができ、また産婦や助産婦の搾乳する手間もはぶけます。

ポンと一〇万円寄附

富田出身の鷲野谷勝雄さん

鮫川中学校卒で現在埼玉県に鮫川左官業の事業所をもち数十名の職員を使つて成功されている富田字反田出身の鷲野谷勝雄さんは、たまたま帰郷して近代的な統合中学校の建築を見学して感心され、八月十六日村長室を訪れて、後輩のために備品費に役立てほしいと石田村長に金一〇万円を寄附金として手渡されました。石田村長はこの若い実業家の篤志に深く感謝の意を表し後輩生徒のために有効な備品として残したいと語りました。



鮫川史㉒

東光寺沿革

国島義広

大字富田字彦次郎にあり木法山薬王院東光寺と号す。新義真言宗智山派に属す。開山は建武元酉四月と云う。昔二回の火災にかかり再建せり。桃山時代よりの過去帳を明かにす。中に古山意休と法名を記載あり。之の館主菅生伯耆守の戒名である。天正八年六月十二日寂、東光院殿古山意休大禅定門と。之を推すに館主菩提の寺にして、中興は天正の頃開基とするにあらずや。旧記を摘録して参考とす。

東光寺沿革（旧記）

新義真言智山派木法山東光寺薬王院

一光明山円通寺磐城国城石郡上遠野之末寺（中興より）

一開山創立建武元年四月八日

一中興開山宥長師代創立月日不詳

一堂宇本堂間口七間半、奥行五間半

一座裏間口五間、奥行四間（明治四年破壊）

一本尊、不動明王、脇像阿弥陀如来

一什器宝物主なもの「大般若六百巻」以下略

鐘楼山門、既、焼失の儘再建しない（旧記）

寺の裏に開基当時の植樹と云う老杉ありしも天保の頃（約百三十年前）に伐採す。直経四間に余る大樹にして今に其朽幹を残す。

左に歴代の僧呂を録し参考とす

僧の世代は筆者の調査にては二十七代にして現代栄敞は之に当る

抜ずるに開基は建武にして再建は桃山時代かと考えらる。旧記に伝法中興宥長とあり、当時寛文六年八月六日火災にかかり再建せるものであるが其後も元録の頃に又焼けたと云い全く寺の記録を失う故に現代栄敞十八世と伝えるのみである。東光寺信取歴代寛文中により焼失、以前は不明、明治五年より姓を認む。

世代	在世	寂年	摘要
一代宥賢	寛文二年二月十九日、		棚倉三祥院寂
二代宥円	寛文中	不詳	蕨草長福寺寂
三代乗空	寛文中	不詳	
四代善興	享保四年一月二七日寂		
五代円全	享保十六年三月十日寂		大阿じや梨
六代宥長	元文三年十一月四日寂		安養院
七代深如	宝歴十二年四月十三日寂		
八代憲敞	明治三年二月十七日寂		
九代良意	安永四年三月四日寂		竹ノ内不動院転
十代宥鏡	安永中	不詳	宗門帳認
十一代義周	安永中	不詳	宗門帳確認
十二代智竜寛政中		不詳	宗門帳確認
十三代竜円文化元年四月六日寂			
十四代大円文化中		不詳	宗門帳確認
十五代義大文政中		不詳	宗門帳確認
十六代智全万延中		不詳	完門帳確認
十七代呑悔	嘉永四年	三月十八日寂	
十八代胎良	明治三年	正月二八日寂	
十九代禅悔	明治五年中	不詳	性天野
廿代耕英	明治廿七年十一月十二日寂		姓佐藤
廿一代義海	明治三八年十一月十四日寂		姓西野
廿二代大応	明治四拾年		茨城県へ転出 姓大田原
廿三代法逸	大正八年二月十六日寂		姓石川
廿四代泰量	昭和八年二月十八日寂		姓皆川
廿五代正雄	昭和十二年八月転寺		茨城郡賀港 姓中山
廿六代実正	昭和廿年六月		転寺 茨城郡賀港 姓小野崎
廿七代栄敞	現住		

終りに去る二十五年前小学校運動場工事中、田の中より、明七〇〇〇〇表に元宥〇印〇位と剛かに見る僧の碑を出土せり、是より推せば建武開山も推理できるか後考に待つ。



スクールバス購入

統合中学校の遠距離通学用スクールバスは、本年度国庫補助100万円と起債100万円を受けて8月に購入しました。

車種は、三菱ふそう中型バスで52人乗りデーゼルエンジン、価格は240万円で、新校舎完成後は青生野地内から運行されます。



……野宿しながら万博見学……
……3千円のオートバイで……
……行程1,700㎞走破……

自転車で富士登山をしたことのある、中沢富雄さん（20才）（石川営林署鮫川担当区勤務、字広畑居住）はスクラップ寸前の35年式オートバイ（メグロ250cc）を自分でオーバーホールして、去る8月22日に一人で万博見学に出かけ、途中野宿しながら箱根などを回り延々1,700㎞を走りぬき8月29日元気に帰つてきました

開口一番、「都会は排気ガスがいつぱいです。やはり鮫川の空気は美味しいです……」

通年施行

新しい言葉である。水田の土地改良は、秋に稲を刈り取った後で行うのが通例であるが通年施行ではその年稲を植付けないで春夏秋の季節に土地改良を行うのである

渡瀬地区は、昨年から字中野町字上など約二〇ヘクタールの圃場整備事業を計画し、二年計画で実施している。

今年は、米の生産調整施策をうけいれ、九・八ヘクタールについて通年施行の工事を進めている。

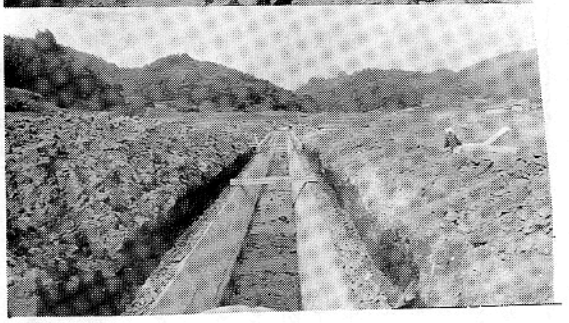
圃場整備事業と、米生産調整の奨励補助金をうけながら、気候のよい、日の長い時期に、能率よく完全な工事を完成しようというねらいである。







通年施行の水田にソバの花盛り（渡瀬）



水田は休耕して夏のうちに完全な水路を（渡瀬）



水田を転作してのコンニャク作り（西山）

楽しかった短歌交換会（続）

七月号に続いて作品を掲載いたします（抜すい）

佳作　山田　茂（棚倉）

うつむけば基本レールに汗落ちる　分岐器調整未だ終らず

〃　石川　浩（〃）

うそ寒き曇りに路地の家並古い交はりながき友ここに住む

〃　蛭田　寿秋（飯川）

遅蕗を籠に満たして帰り来る里の乙女の丸顔あわれ

〃　国島　五黄（〃）

史を探り友を尋ねて東野に戻り日暮れて月出でにけり

〃　松本　健治（〃）

さわやかに緑深まる初夏の夕早苗振祝の唱きこえ来る

〃　杉山　忠男（〃）

草萠える牧場かなたに牛の群れ歩むともなく位置移りゆく

〃　金沢　継緒（〃）

山門につづく杉生の奥幽く背山の閑古日もすがら鳴く

〃　青戸みのる（〃）

晴れわたるみ空の星とまがふまで螢飛び交う川辺の闇を

〃　矢吹　兼光（〃）

ハワイアン一日の旅に発つ朝は昔はきたる白靴を出す

〃　矢吹　長逸（〃）

富士登山記念に植えた落葉松を我家普請の土台木とする

〃　関根　京子（〃）

片恋に過ぎぬものなら清きまま忘れんと思う麦を踏みつつ

〃　山本五十鈴（〃）

いつ解くる農作規制とも知れず老父黙々と畦豆をまく

〃　菊地　弘獄（〃）

娘より送り来たれる新茶くむ青葉したたる庭に向いて

〃　中川西好幸（〃）

つばめ来よと今年も待てど来ぬままに吾が家寂しく夏過ぎむとす

〃　水野　風斉（〃）

朝明けの庭におり佇ち自づなるあくびの後の青菜目にしむ

〃　湯座ミキ子（〃）

朝虹はうすれゆきつつやはらかき雨が降るなり千草の上に